

1999-II 乳用牛評価からの変更について

1. 地域・分娩月の効果 (BM) を地域・分娩月・分娩年の効果 (BMY) に変更

地域・分娩月の効果 (BM) を地域・分娩月・分娩年の効果 (BMY) に変更しました。こうした変更により、年ごとの気象等による変動を数学モデル式に反映できるようになり、遺伝的能力評価がより正確になることが期待できます。

新しい評価モデル式は次のようになります。

$$y_{ijk} = HYP_i + BMY_j + u_k + p_{ek} + e_{ijk}$$

y_{ijk} :

産次・分娩時月齢の効果を補正係数により前補正した乳量あるいは乳成分量の 305 日記録

HYP_i :

牛群・年次・産次の効果 (母数効果)

BMY_j :

地域 (北海道、都府県)・分娩年月の効果 (母数効果)

u_k :

個体の育種価 (変量効果)

p_{ek} :

恒久的環境効果 (変量効果)

e_{ijk} :

残差 (変量効果)

なお BMY 効果のベースは HYP のベース年と BM 効果のベースを考慮し、北海道 1995 年 4 月分娩の効果の平均値を基準 (ゼロ) としました。